（別紙）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　令和2年10月

結節性多発動脈炎と診断された患者様へ（臨床研究に関する情報）

現在、千葉大学医学部附属病院アレルギー・膠原病内科では、北海道大学大学院保健科学研究院の「人工知能による結節性多発動脈炎の皮膚病変と皮膚動脈炎の組織学的鑑別」を行う臨床研究に協力しています。この研究は、過去に生検された患者様の皮膚標本（プレパラート）から取得した画像データを用いて行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名]　 人工知能による結節性多発動脈炎の皮膚病変と皮膚動脈炎の組織学的鑑別

[研究機関]　北海道大学大学院保健科学研究院　病態解析学分野

[研究責任者]　北海道大学大学院保健科学研究院　病態解析学分野・教授　石津明洋

[研究の目的] 皮膚生検により壊死性動脈炎を認めた場合、全身性疾患である結節性多発動脈炎の皮膚病変か、皮膚限局性の皮膚動脈炎かの鑑別が重要です。しかしながら、両者の組織学的異同は明らかになっていないため、現状では、主に臨床経過により両者を鑑別しています。本研究では、臨床経過等により診断が確定した結節性多発動脈炎および皮膚動脈炎の患者様の皮膚生検標本の画像データを人工知能に学習させ、両者の組織学的鑑別が可能かどうかを明らかにすることを目的としています。

[研究の方法]

* 対象となる患者様

2008年1月以降に皮膚生検が行われ、臨床経過等により結節性多発動脈炎の診断が確定した成人患者様

* 利用するデータ

皮膚生検標本（プレパラート）より取得した画像データ

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、名前、住所など、患者様を直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません。

＊上記の研究に検体を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

なお、研究に検体を利用することにご了解いただけない場合でも、不利益は生じません。

[問い合わせ先]

**医学部附属病院アレルギー・膠原病内科**

**医師　古田俊介**

**０４３（２２２）７１７１**